

幼保小の **架け橋** プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。架け橋期の保育・教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

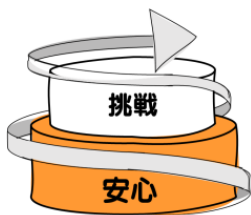
第3回「探究心を育む『遊び』研究会」報告会 2月1日開催

「子どもが主体的に遊び、学ぶ姿とは・・・」

「それを支える保育士・教諭の支援とは・・・」

「探究心が高まった子どもの具体的な姿は・・・」

当日の会場でぜひ、研究員の皆さんの熱い報告をお聞きください！
表彰式では特に素晴らしい取組をされた施設に、市長賞をはじめとする各賞が贈られます。今年も第一生命保険株式会社の協賛を受け、素敵な副賞も授与されます！



子ども家庭庁

「はじめの100か月の
育ちビジョン」より



豊かな遊びと体験



様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に
応じた「遊びと体験」をすることで、外の世界へ「挑戦」



アタッチメント（愛着）



こどもが不安なときなどに身近な大人が寄り添うことや、安心感
をもたらす経験を繰り返すことが、「安心」という土台を築く

先日の小学校長会研修で大豆生田先生からお話があったように、「安心」と「挑戦」の繰り返しは子どもの育ちを支える大切なキーワードです。研究員からの、園や学校で生まれた豊かな遊びと体験の報告をお聞きになれば、きっと「なるほど！」と納得されることでしょう！

～どなたでも自由にご参観いただけます～

【日時】令和7年2月1日(土)

【場所】横浜市庁舎1Fアトリウム

【内容】

第1部 報告会 12:15～13:35

32施設の研究者による成果報告

8つのブースに分かれた発表

第2部 表彰式 14:00～15:00

表彰と講師による講評

※10:00～11:15 研究員の相互発表として、
報告会プレビューを行います。

詳しくはココから



こども青少年局保育・教育支援課 幼保小連携担当 045-671-3731
kd-youhosyo@city.yokohama.lg.jp



昨年度の報告会の様子

